

南阿蘇村 保育所アンケート集計・分析結果報告書

【住民公開・行政配布用】

調査対象：南阿蘇村立保育園に通園する全保護者等

有効回答数：96件

発行時期：2026年8月

発行元：南阿蘇村こども未来課

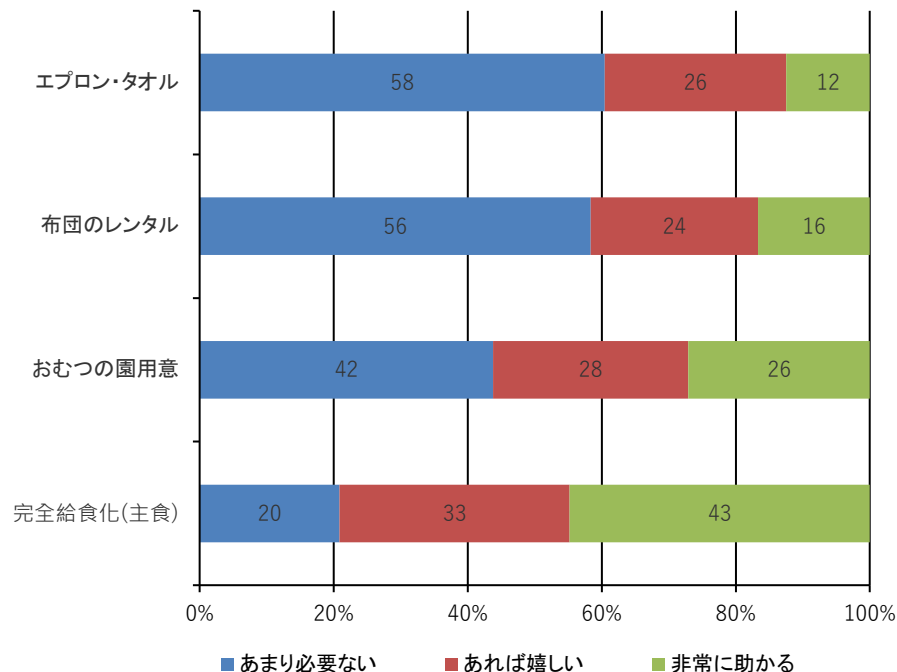
調査要旨

南阿蘇村立保育所（ちょうよう、くぎの、はくすい）の3園の再編（統合や民営化など）に伴う管理・運営費用の効率化で確保できる予算（年間約3,000万円～1億円以上）について、どのような子育て支援サービスに再投資すべきかを検証するため、保護者を対象としたアンケート調査を行いました（総回答数96件）。

集計の結果、以下の重要課題が抽出されました。

- ・ **完全給食への圧倒的ニーズ**：毎日の準備において「主食のご飯提供」が最も負担軽減に繋がると評価されており（79.2%）、削減予算の使い道としても「給食の完全無償化」への賛成率が72.9%と最も高くなっています。
- ・ **病児保育体制の早急な充実**：預かりサービスの中で「病児保育（急な発熱時の園内対応）」への希望が68.8%（66件）と突出しており、就労継続のための最優先課題です。
- ・ **専門教育・特別活動への期待**：体操プログラム（78.1%）、音楽・リズム（56.3%）、英語（53.1%）の専門指導の希望が高く、拠点集約時のメリットとして認識されています。
- ・ **統合における「送迎の負担増」への強い懸念**：送迎距離・時間の増加への不安が突出しており（86.5%）、車両の集中混雑（57.3%）も含め、通園バス運行要件の緩和や駐車場整備が統合の絶対条件となります。
- ・ **民営化における「保育・給食の質」への警戒**：民間委託によるコスト削減が、保育・給食の「質の切り下げ」に繋がらないかという懸念が最大（52.1%）で、村による厳密な監査管理体制が不可欠です。

設問1: 毎日の登園準備や園との連絡について、負担軽減のために園で導入してほしい支援はありますか？

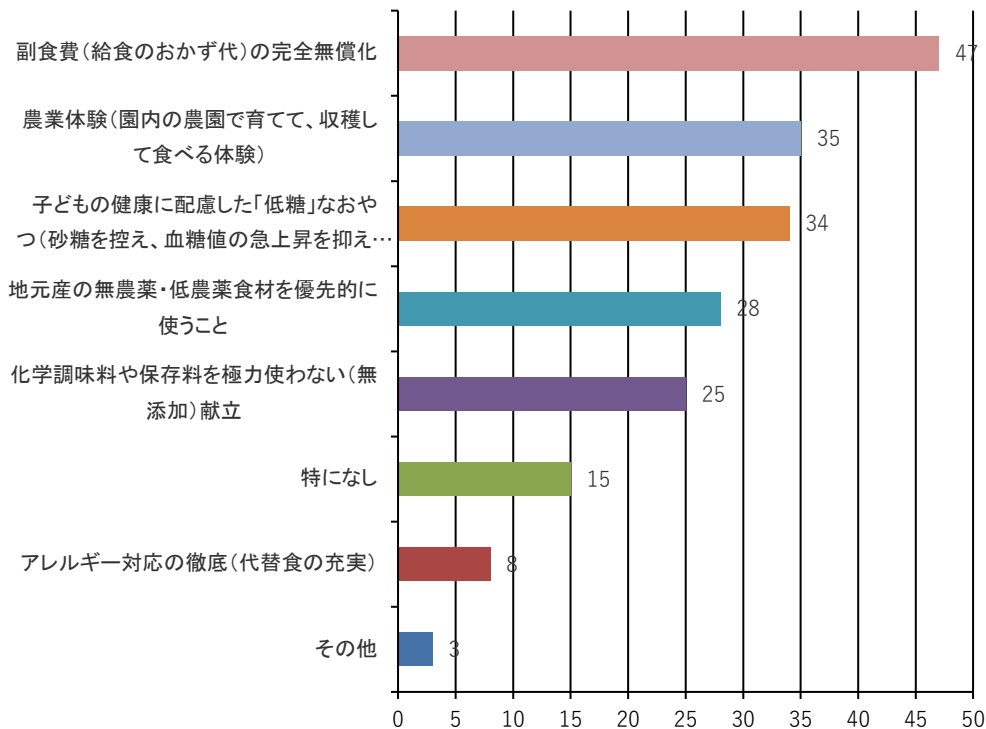


項目	非常に助かる	あれば嬉しい	不要/未回答
完全給食（主食のご飯提供）	43件 (44.8%)	33件 (34.4%)	20件 (20.8%)
おむつの園用意（定額制）	26件 (27.1%)	28件 (29.2%)	42件 (43.8%)
布団のレンタル（洗濯なし）	16件 (16.7%)	24件 (25.0%)	56件 (58.3%)
エプロン・タオルの園用意	12件 (12.5%)	26件 (27.1%)	58件 (60.4%)

■ データ考察・要点

- ・「ご飯（主食）の完全給食」を望む声が79.2%と最も高く、毎朝のご飯準備の負担軽減が最優先課題です。
- ・おむつ定額制（56.3%の支持）については、家庭ごとの肌荒れ懸念やコスト意識による賛否の分散が見られます。
- ・布団や衣類レンタルの優先順位は低く、支援策は「主食給食」「おむつ」に絞るのが効果的です。

設問2: 「給食・おやつ」について、あなたが特に重視するものはどれですか？（複数回答可）

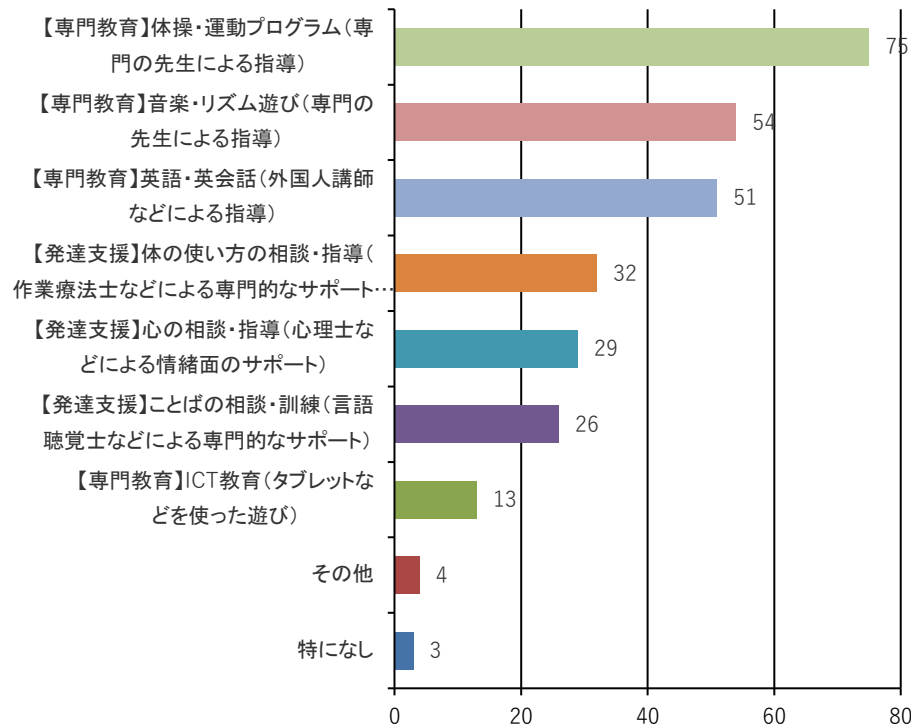


重視項目	回答数	割合
副食費（給食のおかず代）の完全無償化	47件	49.0%
農業体験（収穫・園内菜園体験など）	35件	36.5%
子どもの健康に配慮した「低糖」なおやつ	34件	35.4%
地元産の無農薬・低農薬食材の優先使用	28件	29.2%
化学調味料や保存料を極力使わない無添加献立	25件	26.0%
特になし	15件	15.6%
アレルギー対応の徹底	8件	8.3%
その他	3件	3.1%

■ データ考察・要点

- ・「副食費の無償化（49.0%）」が経済的支援として最多の支持を得ています。
- ・無農薬食材、無添加、低糖おやつ、農業体験などの合計が大きなウェイトを占め、食の安全や体験に対する関心が高くなっています。

設問3: 専門教育や特別カリキュラムの希望について教えてください。(複数回答可)

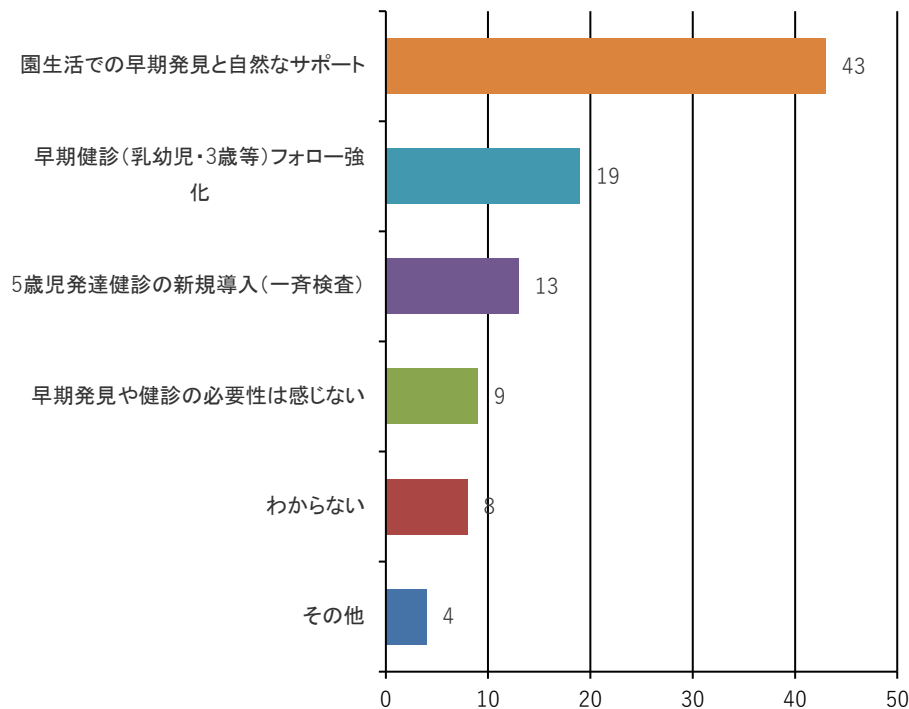


希望プログラム	回答数	割合
【専門教育】体操・運動プログラム	75件	78.1%
【専門教育】音楽・リズム遊び	54件	56.3%
【専門教育】英語・英会話(外国人講師)	51件	53.1%
【発達支援】体の使い方の相談・指導	32件	33.3%
【発達支援】心の相談・指導	29件	30.2%
【発達支援】ことばの相談・訓練	26件	27.1%
【専門教育】ICT教育(タブレット使用)	13件	13.5%
その他	4件	4.2%
特になし	3件	3.1%

■ データ考察・要点

- ・体操・運動(78.1%)、音楽・リズム(56.3%)、英語(53.1%)の順で高い専門教育ニーズが示されています。
- ・作業療法士や言語聴覚士などによる各種発達プログラムのニーズも3割前後あり、個別支援体制も不可欠です。

設問4: お子様の発達に関する「早期発見」や「専門的サポート」に対するご家庭の考え方について

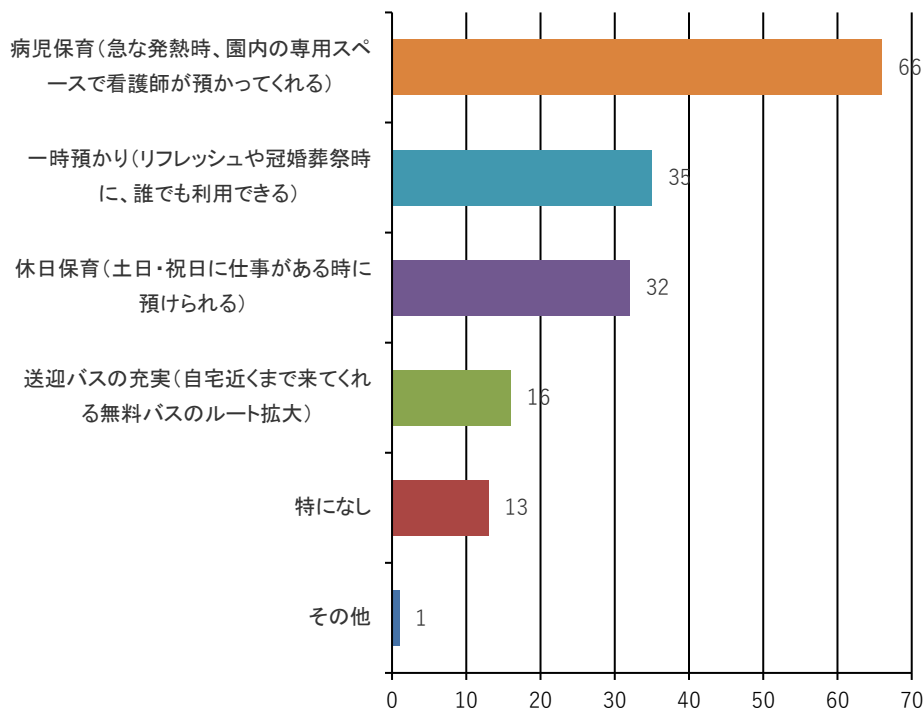


回答選択肢	回答数	割合
園生活での早期発見と自然なサポート	43件	44.8%
早期健診（乳幼児・3歳等）フォロー強化	19件	19.8%
5歳児発達健診の新規導入（一斉検査）	13件	13.5%
早期発見や健診の必要性は感じない	9件	9.4%
わからない	8件	8.3%
その他	4件	4.2%

■ データ考察・要点

- ・「日々の生活の中でいち早く特性に気づき、園内で自然にサポートを始めてほしい（44.8%）」が最多です。
- ・全体の6割以上が、就学前までの早期フォロー・相談支援体制の構築を求めていることが分かります。

設問5: 当園の預かり体制・サービスで、重視する・充実してほしいものはどれですか？（複数回答可）

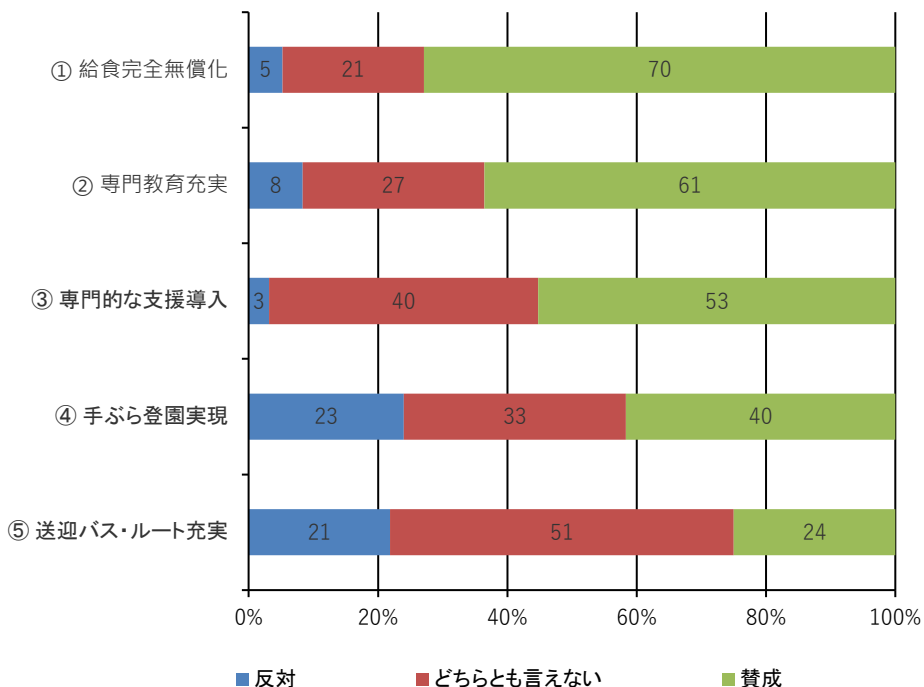


預かり要望	回答数	割合
病児保育（発熱等の園内看護対応）	66件	68.8%
一時預かり（リフレッシュや急な用事等）	35件	36.5%
休日保育（土日祝の預かり）	32件	33.3%
送迎バスの充実	16件	16.7%
特になし	13件	13.5%
その他	1件	1.0%

■ データ考察・要点

- ・ 急な発熱時等に保護者の就労維持を助ける「病児保育（68.8%）」へのニーズが極端に高い結果となっています。
- ・ 休日保育や一時預かりの希望も3割を超え、多様な保護者の働き方に合わせたサービス拡大が求められています。

設問6: 園再編・予算効率化に伴う還元策として、確保できた予算の使途に関する賛否



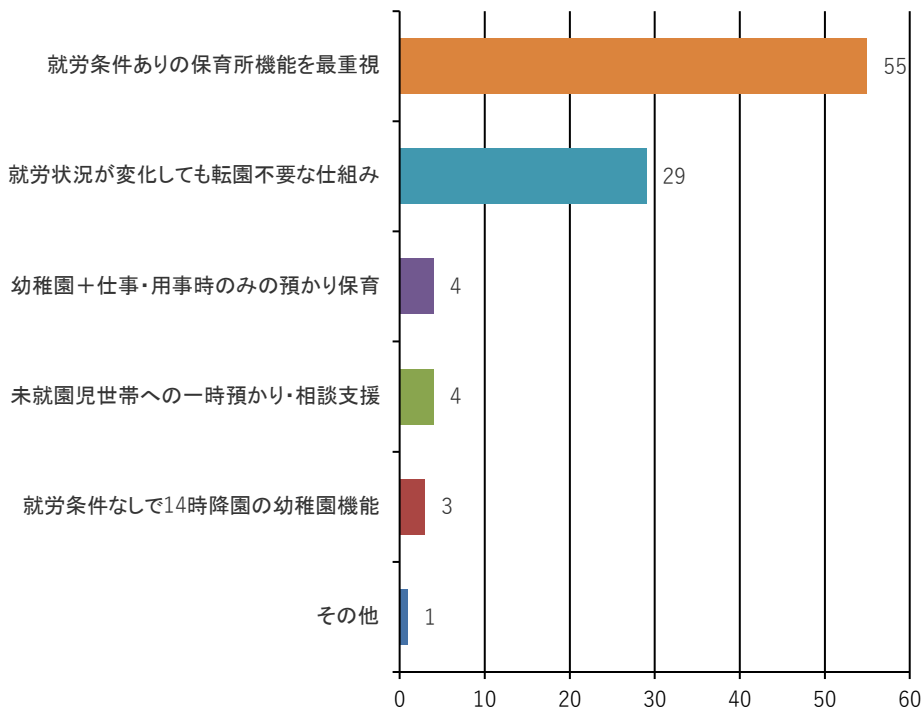
還元サービス案	賛成	保留	反対
① 給食の完全無償化	70件 (72.9%)	21件 (21.9%)	5件 (5.2%)
② 専門教育の充実	61件 (63.5%)	27件 (28.1%)	8件 (8.3%)
③ 専門的な支援の導入	53件 (55.2%)	40件 (41.7%)	3件 (3.1%)
④ 手ぶら登園の実現	40件 (41.7%)	33件 (34.4%)	23件 (24.0%)
⑤ 送迎バス・ルートの充実	24件 (25.0%)	51件 (53.1%)	21件 (21.9%)

■ データ考察・要点

・「給食無償化（72.9%）」が最も支持が高く、納得感の強い第一優先の還元策であると判断できます。

・「専門教育（63.5%）」や「個別発達支援（55.2%）」など、保育プログラム水準の底上げに対しても強い支持があります。

設問7: 今後の園に望まれる「機能（預け方の選択肢）」に関する希望

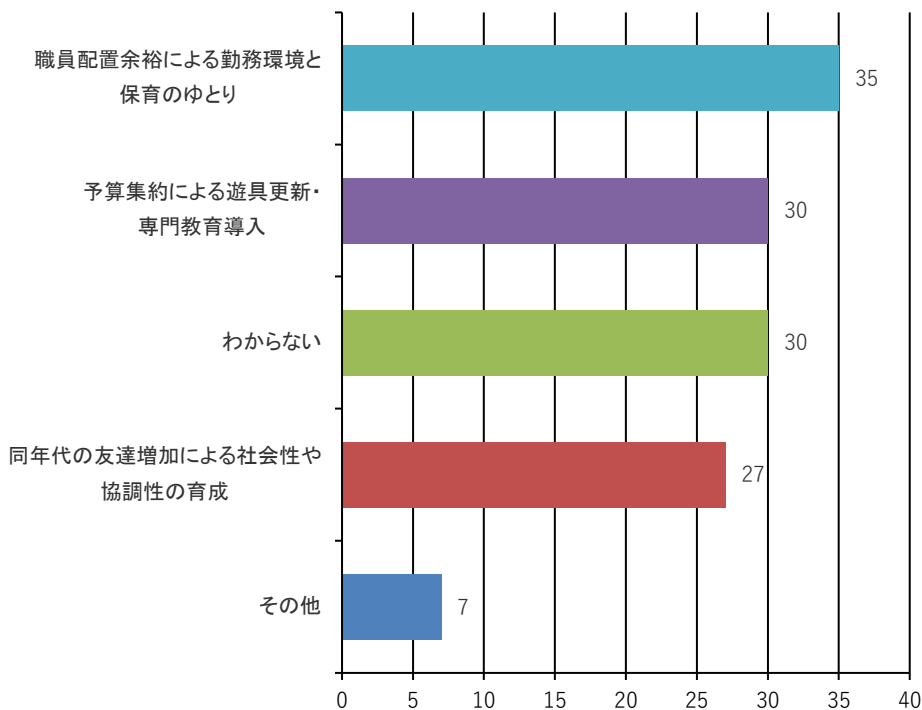


望まれる基本機能	回答数	割合
就労条件ありの保育所機能を最重視	55件	57.3%
就労状況が変化しても転園不要な仕組み	29件	30.2%
未就園児世帯への一時預かり・相談支援	4件	4.2%
幼稚園＋仕事・用事時のみの預かり保育	4件	4.2%
就労条件なしで14時降園の幼稚園機能	3件	3.1%
その他	1件	1.0%

■ データ考察・要点

- ・就労を条件とする「夕方までの標準的な保育機能（57.3%）」が半数以上を占め、最重要の基盤です。
- ・「就労状況が変化しても友達と卒園まで転園不要でいられる仕組み（30.2%）」が次点で多く、保護者の雇用形態の変化に配慮した柔軟性を求めています。

設問8: 【統合メリット】 仮に村内の保育園が統合した場合、期待するメリットは何ですか？（複数回答可）

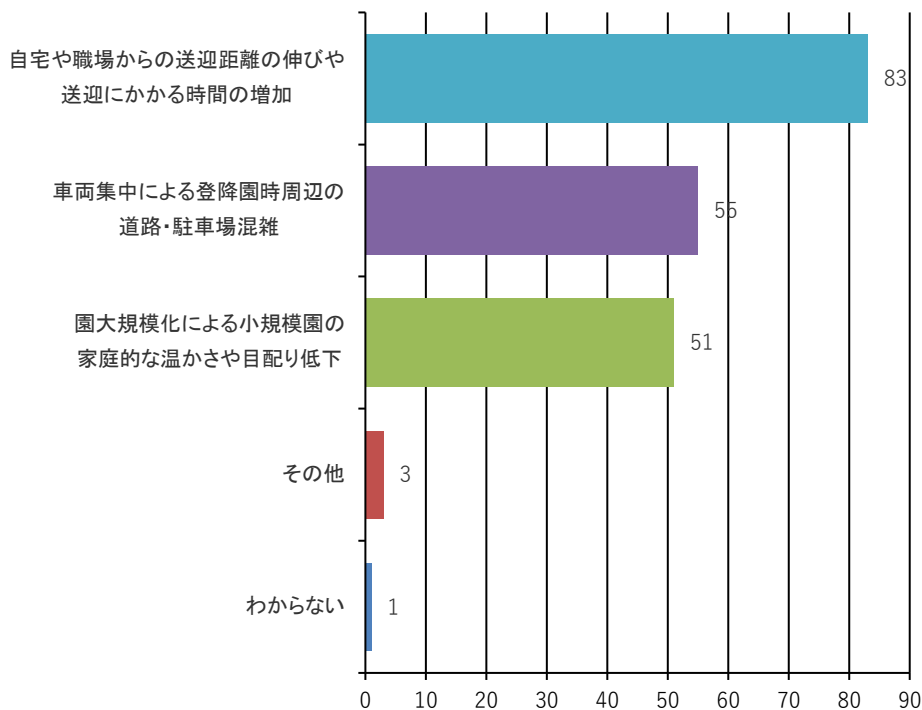


期待するメリット	回答数	割合
職員数増加による勤務環境と保育体制のゆとり	35件	36.5%
予算集約による遊具更新・充実した専門教育	30件	31.3%
わからない	30件	31.3%
同年代の友達増加による社会性・協調性の育成	27件	28.1%
その他	7件	7.3%

■ データ考察・要点

- ・「保育士の配置に余裕ができ手厚い保育ができる（36.5%）」や「予算集中による遊具や教育の充実（31.3%）」が上位です。
- ・「わからない」も31.3%を占めており、統合に伴う具体的なメリット提示を求める声も大きいです。

設問9: 【統合デメリット】仮に村内の保育園が統合した場合、懸念するデメリットは何ですか？
(複数回答可)

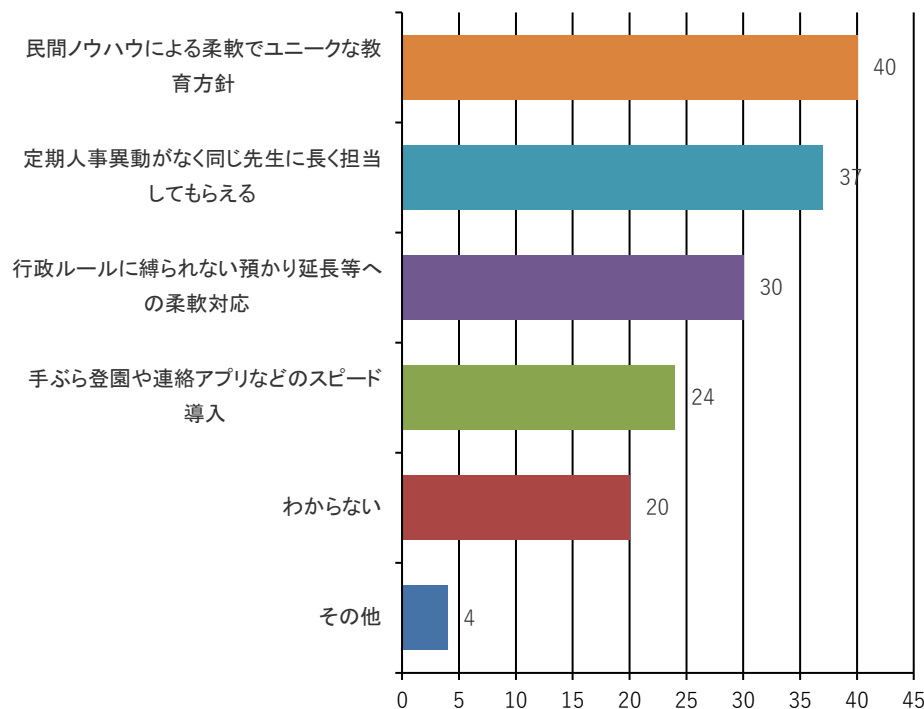


懸念するデメリット	回答数	割合
自宅や職場からの送迎距離・時間の増加	83件	86.5%
車両集中による登降園時周辺の混雑や事故危険	55件	57.3%
園大規模化による小規模園の家庭的温かさの喪失	51件	53.1%
その他	3件	3.1%
わからない	1件	1.0%

■ データ考察・要点

- ・「送迎距離・時間の増加（86.5%）」が圧倒的です。遠方世帯へのバス条件緩和が極めて重視されます。
- ・「車の集中による周辺混雑・危険（57.3%）」や「大規模化によるアットホーム感の喪失（53.1%）」も懸念されています。

設問10:【民営化メリット】仮に新園の運営を「民営化」した場合、期待する変化は何ですか？ (複数回答可)

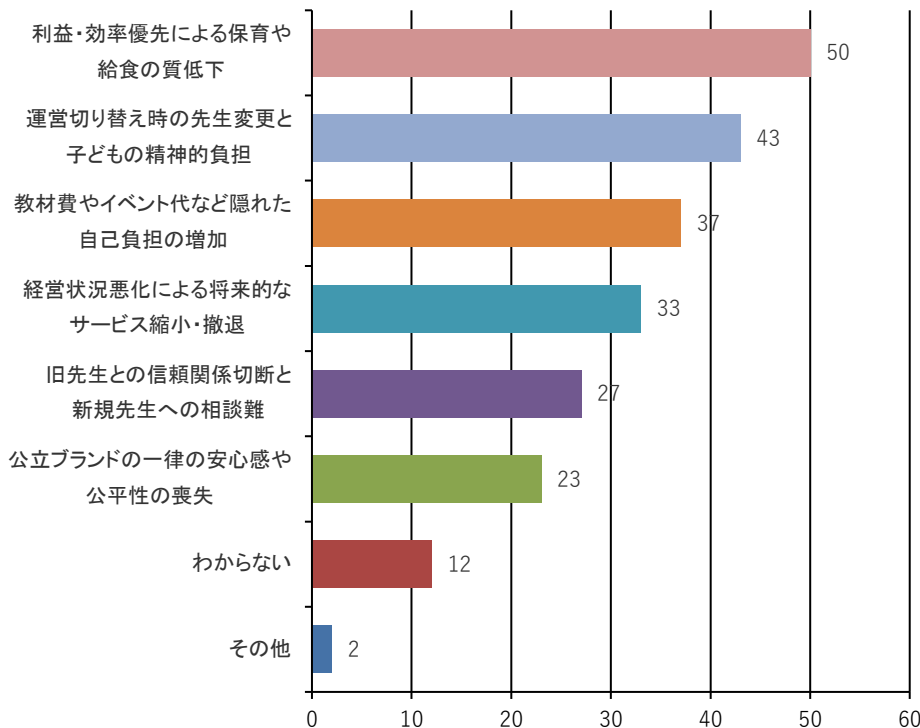


期待するメリット	回答数	割合
民間ノウハウによる柔軟でユニークな教育方針	40件	41.7%
定期人事異動がなく同じ先生に長く担当してもらえる	37件	38.5%
硬直的ルールがなく預かり延長など柔軟な対応	30件	31.3%
手ぶら登園や連絡アプリなどのスピード導入	24件	25.0%
わからない	20件	20.8%
その他	4件	4.2%

■ データ考察・要点

- ・「ユニークな教育カリキュラムの導入（41.7%）」や「定期異動がなく卒園まで一貫して同じ先生が見守る（38.5%）」が肯定評価されています。
- ・アプリ管理や手ぶらなどの「負担軽減の迅速化（25.0%）」への期待もあります。

設問11:【民営化デメリット】仮に新園の運営を「民営化」した場合、懸念する変化は何ですか？ (複数回答可)



懸念するデメリット	回答数	割合
利益・効率優先による保育・給食の質低下	50件	52.1%
運営切り替え時の先生変更と子どもの精神的負担	43件	44.8%
教材費やイベント代など隠れた自己負担の増加	37件	38.5%
経営状況悪化による将来的なサービス縮小・撤退	33件	34.4%
旧先生との信頼関係切断と新規先生への相談難	27件	28.1%
公立ブランドの一律の安心感や公平性の喪失	23件	24.0%
わからない	12件	12.5%
その他	2件	2.1%

■ データ考察・要点

- ・「利益・効率最優先による保育・給食クオリティの低下（52.1%）」が最大です。委託先の質のコントロールが必要です。
- ・運営引き継ぎに伴う保育士の総変更による子どものストレス（44.8%）や、隠れた上乗せ自己負担（38.5%）も注視すべき課題です。

自由記述・個別意見のカテゴリー別整理

■ 日常の保育運営・保護者負担の軽減と利便性向上

- ・**申請・連絡のデジタル化推進**: 各種提出書類のオンライン化や連絡アプリの導入、土曜保育の申請簡素化など、手続きの負担軽減を求める声。
- ・**持ち物・ルールの見直し**: 主食を含む完全給食の早期導入、着用頻度の低い指定服や備品の購入見直し、記名や持ち物準備の簡素化など、家庭の実情に合わせた運用の柔軟化を希望する意見。
- ・**就労形態に合わせた行事・サービス日程**: 共働き世帯や自営業等への配慮として、主要行事(運動会・発表会等)の土曜日開催や、送迎バスの運行時間・対象要件の見直しを求める声。
- ・**公助と家庭の役割に関する視点**: 利便性向上を評価・歓迎する一方で、有料サービスの導入に伴う実質的な費用負担増への懸念や、家庭側でもある程度主体的に担うべきとする慎重な意見。

■ 園再編・民営化に対する運営方針と行政の透明性

- ・**通園インフラと施設設計(ハード面)**: 再編に伴う送迎負担を緩和するバスルート拡充、混雑緩和や事故防止に配慮した駐車場・屋根付き動線など、安全で利便性の高い施設設計を求める声。
- ・**民営化に伴う質の維持とガバナンス**: 事業者変更時にも保育水準や食材の質が維持されるよう、自治体による厳格な基準設定と監査体制の確立、職員との信頼関係維持への配慮を求める意見。
- ・**合意形成プロセスの透明化と使途の開示**: 再編に関する検討状況の公開や保護者参加の機会確保、統合により効率化された財源の村民への還元プロセスの明示を求める声。

■ 保育・給食の質の確保と安心できる成育・支援環境

- ・**食育・給食の充実**: 地元農産物を活用した安全な給食(無農薬・無添加等)、栄養バランスやおやつ分量適正化、冷凍母乳対応など個別の成育支援の要望。
- ・**きめ細やかな保育と発達支援**: 小規模園ならではのアットホームさや異年齢交流の維持、園内での医療的ケア・看護師配置、発達支援に関するセーフティネットの強化を求める意見。
- ・**教育プログラムのあり方**: 放課後を活用した運動プログラム等の導入を期待する声がある一方、過度な早期教育は公立園が一律に担うべきではないとする意見。
- ・**保育士の処遇と労働環境の改善**: 保育の質や子どもの安全を根本で支えるため、現場スタッフがゆとりを持って働ける職場環境づくりや処遇改善を最優先とすべきという意見。